
令和5年度デジタル田園都市国家構想
交付金事業の効果検証

令和 5 年度デジタル田園都市国家構想交付金事業等の効果検証 審議概要

【美山地域の保育施設等を中心とした地域創造事業】

○事業期間中はコロナ禍ではあったが、検討会などを通して、民間施設への移行に向け、美山地域の保育園にどんな民間活力を注入できるかという問題整理ができたなど一定の効果を得られた。

【自転車で出かけたくなるまちづくり ～「カーボン・マイナス・シティ」宣言をした山県市におけるサステナブル・サイクルツーリズム推進事業～】

- KPI の項目として設定した観光入込客数の基準値が適切であったか。
- レンタサイクル利用者数が事業目的に合っているか。
- そもそもこの事業目的に合った数値で現す KPI 設定が難しい。
- 設定した KPI とは別に、具体的な内容で何か設定するか、新しい何かを開発したなどの成果が最終的に出せると良い。

【山県バスターミナル賑わい創出プラットフォーム整備事業】

○この施設の来客数は減っているが、客単価は上がっているので問題ない、という評価もできる。観光案内利用者数は二ーズがなかった様で、今後事業を組み直していくことが望ましい。

【総評】

○KPI の実績数値、下がったならその影響をどう思うか、考えられるような数値設定をしておかないと。KPI を見てその次の施策を考えにくい。下がった原因が分からないと次どうするかという議論になっていかない。ストーリーを考えた数値設定が必要。今後細かな数値設定を行う場合、考えていくと良い。

地方創生推進タイプ 事業一覧

1. 美山地域の保育施設等を中心とした地域創造事業

事業期間 R3～R5

担当課 子育て支援課

事業概要

子育て世代の定住に必要な不可欠な保育園に地域の特色・魅力を生かした魅力のある保育環境を整備する事業。

成果説明書 P.89

(千円)

計画年度	R 3	R 4	R 5	計
計画額（実施計画）	3,650	2,989	4,762	11,401
事業費（決算額又は計画額）	3,650	2,981	4,761	11,392
交付金	1,825	1,491	2,376	5,692

R4転出入差-45人 → R5転出入差-39人

事業目標（令和5年度）

KPI	目標値	実績値	達成率
市内及び当該地域における子育て世代の転出入差の減少	10人	6人	60%
子育て世代の転入増加による当該保育園への入園増加	4人	2人	50%
地域資源（自然資源等）を活用した事業団体の増加	1団体	0団体	0%
公立保育園への民間活力の採用（地域自然を利活用した保育園の民営化）	1施設	0施設	0%

事業成果、得られた知見ノウハウ

- ・美山地域創造委員会を設置、美山地域の2園の保育施設の将来に向けた方針を整理
- ・自然保育事業の研究成果を踏まえた自然体験を実施、子ども・保護者の認知度が向上
- ・各保育園にて独自の自然体験メニューを開発

合同会議の評価・検証結果

- ・KPIが達成されなかった部分についての評価や検証が読み取りにくい

→事業期間中はコロナ禍、達成するのが難しい期間ではあったが、その中においても一定の効果が得られていると思う。昨年度は検討委員会を開き、何が必要か知ることができた。この期間に民間施設に移行することは叶わなかったが、それに向けて美山地域の保育園にどんな民間活力を注入できるかという問題整理ができた。そのことを踏まえた効果検証ができるように、今後変えていきたい。

2. 自転車で出かけたくなるまちづくり～「カーボン・マイナス・シティ」宣言をした山県市におけるサステナブル・サイクルツーリズム推進事業～

事業期間 R5～R7

担当課 まちづくり・企業支援課

事業概要

山県市が有する歴史や自然環境、新たに生み出す地域の魅力を生かし、デジタル技術も活用した自転車で出かけたくなるまちづくりや観光を進めることで、山県市が宣言したカーボン・マイナス・シティの推進や、サステナブルな観光の推進により交流人口を拡大し、経済的な地域活性化を図る事業。

成果説明書 P.52,53

計画年度	R 5	R 6	R 7	計
計画額（実施計画）	15,100	41,000	41,302	97,402
事業費（決算額又は計画額）	15,094	41,000	41,302	97,396
交付金	7,547	20,500	20,651	48,698

(千円)

事業目標（令和5年度）

R4基準値593,254人、R5目標値622,000人、R5実績値588,892人

KPI	目標値	実績値	達成率
観光入込客数（増加分）（年度計）	28,746人	-4,362人	-
地域資源を活用した新商品・新メニューの開発件数（増加分）	1件	3件	300%
レンタサイクル利用者数（増加分）	7人	-78人	-

R4基準値303人、R5目標値310人、R5実績値225人

事業成果、得られた知見ノウハウ

- ・一般住民向けアンケートを2回実施、山県市におけるサイクルツーリズムの可能性や課題についてヒアリングを実施。
- ・桑の木豆など特産品を使った新商品を3品開発、東京のショールームにて特産品とともに新商品のPRを行った。
- ・栗まつりにて大桑城の他武将隊によるステージイベント、デジタルを駆使したイベントを行い、幅広い世代にPRできた。

合同会議の評価・検証結果

・この事業は一体何をやろうとしているのか。

→カーボン・マイナス・シティを宣言した山県市において、CO2削減を目指すために自転車を活用したサイクルツーリズムを開始。山県市は電車が通っておらず、バスしかない。カーボン・マイナス・シティ宣言をしたところで、自転車をメインとした中で観光地に人を誘客しようという目的で進めているもの。歴史、自然、食の3つを軸として、市内に点で存在しているものを、サイクリングコースとして、線で結ぶような事業を進めようとしている。KPIの「地域資源を活用した新商品新メニューの開発」は食の部分。新商品、新メニューの開発をして、プラスアルファで、サイクリングで観光地をつなげていく、点を線で結ぶような事業。市内全域を対象としたサイクリングコースを作る事業。

・観光入込客が増えるとカーボン・マイナスにならないこともあり相当難しい。できる範囲で何を絞り込むか、何を強調するか、数値的に現すのは難しい。何を強調して何が検証されるか、定性的なところで表現できた方が良い。立地的に全くカーボン・ニュートラルに観光を成立させるのは考えにくい。基本的には自家用車で来られる方が多い場所。カーボン・ニュートラルというと、どこかの駐車場まで車でお越しいただき、そこから自転車で回っていただくとそこは魅力的ですよ、これは大都市部で遺跡などがあって排ガス規制で建物に排ガスがつかないようにという理屈付けができると思う。資源の関係で車が走らない方が良いだろうという場所を設定し、これだけ減りましたよとか、もう少しミクロな設定をしないと、観光入り込み客数でこの話とつなげていくのは難しい。既に事業採択されて決定しているKPIはそれとして、具体的な内容で何かを設定し、それについて効果検証というか、新しい何かを開発したと最終的な成果が出せれば。3年間の事業規模9740万円に対しKPIのレンタサイクル利用者数目標値が増加分で7人は合わない。基準値303人、目標値310人という様な実績値の方が良いのでは。観光入込客数について、以前よりかなり増加した令和4年度を基準値として増加分を目標値とすると、令和5年度は減少したとなる。その辺りの評価が難しい。令和5年は減ったが令和のはじめ辺りからすごく増えているという記述であれば。

3. 「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業

事業期間 R3～R7

担当課 企画財政課 まちづくり・企業支援課

事業概要

恋人の聖地観光協会市町村長会加入市町村のうち、本市を含む18市町村が協働してシティ・プロモーションを実施するためのプラットフォームやYouTubeチャンネル等を整備する事業。

成果説明書 P46,47,53,136,137

(千円)

計画年度	R3	R4	R5	R6	R7	計
計画額（実施計画）	36,638	36,638	36,638	36,638	36,638	183,190
事業費（決算額又は計画額）	35,533	36,253	36,638	36,638	36,638	181,700
交付金	17,766	18,127	18,319	18,319	18,319	90,850

事業目標（令和5年度）

KPI	目標値	実績値	達成率
観光入込人数増加目標(広域全体)	7,549,000人	7,563,653人	100%
ポータルプラットフォームへの投稿数目標(広域全体)	1,080件	2,944件	273%
メディア掲載数目標(広域全体)	432件	822件	190%

事業成果、得られた知見ノウハウ

- ・YouTubeチャンネルで、特産品を首長が持ち寄り、著名人からの評価を競い合う動画を作成
本市の特産品3点を出品したところ、人気投票で8位（51品中）となった特産品もあった。
人気投票は、9万件を超える応募があり、スケールメリットを感じ取れた。
- ・名山めぐり、栗まつり、ギネス世界記録挑戦を実施

合同会議の評価・検証結果

- ・特になし

4. 「恋人の聖地」広域市町村連携による関係人口拡大に向けたバーチャルコンパクトシティ事業

事業期間 R4～R8

担当課 企画財政課 まちづくり・企業支援課 農林畜産課 学校教育課

事業概要

恋人の聖地観光協会市町村長会加入市町村のうち、本市を含む14市町村が共同のバーチャルシティを構築し、市町村独自の事業や制度の案内窓口を作り、仮想住民登録した人は、限定情報などの特典を受けられる仕組みをつくる事業。

成果説明書 P.44,45,47,48,49,50,51,53,118,134,165

(千円)

計画年度	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画額（実施計画）	52,843	55,843	40,843	40,843	40,843	231,215
事業費（決算額又は計画額）	47,268	55,843	40,843	40,843	40,843	225,640
交付金	23,631	27,921	20,422	20,422	20,422	112,818

事業目標（令和5年度）

KPI	目標値	実績値	達成率
観光入込人数増加目標(広域全体)	2,500,000人	4,161,485人	166%
仮想市民登録数増加目標(広域全体)	2,380件	2,497件	105%
地方志向者の魅力度数増加目標(広域全体)	3%	7%	232%

事業成果、得られた知見ノウハウ

- ・観光入込数の増加、地方指向者の魅力度数の増加が図られ、スケールメリットを感じ取れた。
- ・前年度に制作・発信した動画「おしえて！ハタチ市長」を活用した企画として、スカイランタン祭りwithハタチ市長を開催したところ、市内外から約500組が参加。
- ・ふるさと大使関連事業、ぎふの山県市とやまがたのボス山形市をつなげろ！の巻、自治体間交流創出事業、創業支援のためのスタートアップ支援事業等を実施。

合同会議の評価・検証結果

- ・特になし

地方創生拠点整備タイプ 事業一覧

1. (仮称) 山県市グリーンプラザみやま多目的交流拠点施設整備事業

事業期間 R4～R8 (効果測定期間)

担当課 まちづくり・企業支援課

事業概要

山県市観光のPRポイントである、自然体験機能をさらに魅力的に発信することを目指し、多目的交流拠点施設を整備する事業。

成果説明書 P.139,140

(千円)

計画年度	R 4	R 5	計
計画額 (実施計画)	6,492	81,907	88,399
事業費 (決算額又は計画額)	6,492	79,916	86,408
交付金	3,246	39,956	43,202

事業目標 (令和5年度)

KPI	目標値	実績値	達成率	参考(実数)
グリーンプラザみやま観光入込客数(増加分)	300人	1,236人	412%	15,999人
喫茶miyama hutの飲食販売額(増加分)	120千円	-328千円	-	192千円
大黒山登山者数(増加分)	50人	-46人	-	154人
交流人口(年間観光地点別入込客数・年間)(増加分)	11,000人	24,207人	220%	364,407人

事業成果、得られた知見ノウハウ

- ・多目的交流拠点施設の整備が完了
- ・交流拠点施設等を含めた山県市の認知度をさらに向上させるため、官民一体となってPRに努め、イベント等の開催により施設の利用と交流人口の増加を図る。

合同会議の評価・検証結果

- ・特になし

2. 山県バスターミナル賑わい創出プラットフォーム整備事業

事業期間 R2～R6（効果測定期間）

担当課 まちづくり・企業支援課

事業概要

山県バスターミナルを開設し、賑わい創出PR事業、賑わい拠点となる複合施設を運営する事業。

(千円)

計画年度	R 2	R 3	計
計画額（実施計画）	50,000	12,000	62,000
事業費（決算額又は計画額）	50,000	12,000	62,000
交付金	25,000	6,000	31,000

事業目標（令和5年度）

KPI	目標値	実績値	達成率
年間複合施設来客者数	161,000人	140,471人	87%
レストラン・物販売上額	112,700千円	217,792千円	193%
観光案内利用者数	12,880件	1,988件	15%

事業成果、得られた知見ノウハウ

- ・民間事業者により管理運営をすることで賑わい拠点を強くPRすることができた。
- ・引き続き官民連携により市内の魅力向上や賑わいの創出を図る。

合同会議の評価・検証結果

- ・KPIについて、この施設の来客数は減っているが、客単価は上がっているので問題ない、という評価もできる。観光案内利用者数は、これが違っていたという形で評価するしかない。それはそれで、全体としてどうというところではなく、ニーズがなかった様で、今後事業を組み直していくことが望ましい。
- ・交流人口がどうなっているか、真っ直ぐ減った、増えただけでなく、今後全体として検証が必要か。

3. 「観て・食べて・体験して！自然体験ゾーン」形成に伴う「ハリヨ公園」リニューアル事業

事業期間 R2～R6（効果測定期間）

担当課 建設課

事業概要

令和2年度にリニューアルしたハリヨ公園において、公園施設の維持管理を行うとともに、市民等を対象としたハリヨの生息観察会を行い魅力や活力を創出する事業。

(千円)

計画年度	R 2	計
計画額（実施計画）	151,700	151,700
事業費（決算額又は計画額）	158,631	158,631
交付金	57,799	57,799

事業目標（令和5年度）

KPI	目標値	実績値	達成率
伊自良地域観光施設への交流人口数	183,000人	216,194人	118%
てんこもり農産物直売所及び体験型いちご園の売上収入額(千円)	111,785	130,847	117%

事業成果、得られた知見ノウハウ

- ・ザリガニなどの外来種の駆除を行いハリヨの繁殖しやすい環境整備を行った。
- ・近隣の農産物直売所やいちご園などとの相乗効果により、来訪者の滞在時間を長くし、周回型観光へシフトさせ、来訪者の増加を図ることが必要

合同会議の評価・検証結果

- ・特になし

デジタル実装タイプ 事業一覧

1. 市民向け行政サービスをまとめてDX事業

事業期間 R5～R7（効果測定期間）

担当課 総務課

事業概要

行政サービスの利便性向上のため、住民との直接接点である窓口関係と、住民とのデジタルの接点である情報発信関係を一体的、複合的に進めることで、広く住民に対してDXの恩恵を実感してもらい、地域のDX推進機運をも高める事業

成果説明書 P.35,36,41,60,63,166,176 (千円)

計画年度	R 5	計
計画額（実施計画）	53,237	53,237
事業費（決算額又は計画額）	47,809	47,809
交付金	23,905	23,905

事業目標（令和5年度）

KPI	目標値	実績値	達成率
【窓口申請支援サービス】利用者満足度	3.0ポイント	4.6ポイント	154%
【遠隔窓口システム】利用者満足度	3.0ポイント	5.0ポイント	167%
【手数料決済キャッシュレスシステム】利用者満足度	3.0ポイント	4.8ポイント	160%
【WEB口座振替受付サービス】利用者満足度	3.0ポイント	3.7ポイント	122%
【LGWANファームバンキングシステム】利用事業者満足度	4.0ポイント	4.8ポイント	119%
【公式LINE運用ツールと各種システム連携】利用者満足度	3.0ポイント	3.6ポイント	118%
【献立作成クラウドシステム】利用者満足度	3.0ポイント	4.2ポイント	139%

事業成果、得られた知見ノウハウ

- ・窓口申請27帳票について、手書きの必要がなくなり、手続きの負担が軽減された。
- ・ビデオ通話環境の整備により、支所・出張所に対応できなかった申請・相談が可能となり利便性を高めた。
- ・証明書発行手数料について、クレジットカード、電子マネーなど多様な決済が利用できるよう利便性を高めた。
- ・口座振替の申込みを、スマホやPCから実施できるよう、利便性を高めた。
- ・取引金融機関とのデータのやり取りをオンラインで実施できる環境を整え、業務効率の向上と情報紛失リスクの低減が図れた。
- ・LINE公式アカウントを運用できる環境を整え、多様な情報発信やオンライン申請の入り口とすることで、利便性を高めた。
- ・学校給食で提供されているメニューを公式LINEで発信することで、家庭での食事作りの参考になると高評価を得られた。

合同会議の評価・検証結果

- ・特になし

2. 有線テレビケーブルを活用した農業用水利施設の遠隔監視と水門の遠隔操作事業

事業期間 R5～R7（効果測定期間）

担当課 農林畜産課

事業概要

河川、頭首工の状況を遠隔で確認し、市職員による手動水門開閉を電動化、遠隔操作とすることで、迅速、的確な管理が可能となり、地域の冠水リスクを低減させ、地域住民の安心安全と農作物への被害低減を図る事業。

成果説明書 P.122,123

(千円)

計画年度	R 5	計
計画額（実施計画）	87,446	87,446
事業費（決算額又は計画額）	79,858	79,858
交付金	39,929	39,929

事業目標（令和5年度）

KPI	目標値	実績値	達成率
水門開放要求の件数	3件	0件	0%
地域農地の冠水被害件数	0回	0回	100%
サービスの満足度	3.0ポイント	未計測	—

事業成果、得られた知見ノウハウ

- ・ 2つの一級河川の合流地点にあたり、河川水位の状況及び頭首工の開閉状態をリアルタイムに把握できた。
- ・ 河川、頭首工の状況を遠隔で確認し、市職員による手動水門開閉を電動化、遠隔操作とすることで、迅速、的確な管理が可能となり、地域の冠水リスクを低減させ、地域住民の安心安全と農作物への被害低減が図れた。

合同会議の評価・検証結果

- ・ 特になし